

JAXA 宇宙飛行士

古川聡さん プロフィール



©JAXA/GCTC

宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙飛行士 49 歳。
第 28 次／第 29 次長期滞在クルーのフライトエンジニアとして
国際宇宙ステーション（ISS）に 165 日間滞在。

略歴

1964 年	神奈川県横浜市に生まれる。
1989 年	東京大学医学部医学科卒業。2000 年同大学博士(医学)取得。
1989 年～1999 年	東京大学医学部附属病院第 1 外科学教室勤務。
1989 年～1994 年	病院の麻酔科、外科に勤務し、消化器外科の臨床及び研究に従事。
1999 年 2 月	NASDA(現 JAXA)より ISS に搭乗する日本人宇宙飛行士の候補者として、星出彰彦、角野直子とともに選定される。
1999 年 4 月～	NASDA(現 JAXA)が実施する日本人 ISS 搭乗宇宙飛行士の基礎訓練に参加。
2001 年 1 月	宇宙飛行士として認定される。
2001 年 4 月～	ISS 参加機関の国際協力のもとに実施される ISS 搭乗宇宙飛行士のアドバンスト訓練に参加。 併せて、ISS に取り付けられる「きぼう」日本実験棟の開発・運用に関わる技術支援業務などを実施。
2004 年 5 月	ソユーズ-TMA 宇宙船フライトエンジニア資格を取得。 同年 6 月より NASA ミッションスペシャリスト(搭乗運用技術者:MS)候補者訓練に参加。
2006 年 2 月	NASA より MS として認定される(MS 認定のコメント)。
2007 年 8 月	米国フロリダ州沖にある米国海洋大気圏局(NOAA)の海底研究施設「アクエリアス」における 10 日間に渡る第 13 回 NASA 極限環境ミッション運用(NEEMO)に参加。
2008 年 5 月	ISS 第 22 次／第 23 次長期滞在クルー(当時は、ISS 第 20 次長滞在クルー)のバックアップクルーに任命される。
2008 年 12 月	ISS 第 28 次／第 29 次長期滞在クルーのフライトエンジニアに任命される。
2011 年 6 月～11 月	第 28 次／第 29 次長期滞在クルーのフライトエンジニアとして ISS に 165 日間滞在。滞在中は、「きぼう」での実験や ISS の維持管理を行ったほか、最後のスペースシャトルミッションとなった STS-135 ミッションの支援などを実施。 打上げ、帰還ともにソユーズ TMA-02M 宇宙船(27S)に搭乗。

※JAXA ホームページより <http://iss.jaxa.jp/astro/furukawa/>

(2013 年 10 月 30 日現在)